

八代市港湾利用・物流拠点型産業集積形成基本計画の概要

計画のポイント

- ・八代地域において集積を形成している飼料・有機質肥料製造業及びパルプ・紙・紙加工品製造業などの港湾利用型産業は、製造品出荷額の約3分の1を占め、雇用などの面においても非常に重要な役割を担っている。
- ・県内最大の国際貿易港である、重点港湾「八代港」を有していること、九州の中央部に位置し、高速交通網の整備も進んでいることから、運輸業、卸売業の集積が見られ、九州の物流拠点としての重要性が高まっている。
- ・「八代港」では、物流の効率化・高度化を図り国際競争力の向上を目指す「多目的国際ターミナル整備事業」が進められており、建設中の水深14m岸壁が完成すれば、九州の公共岸壁としては、博多港、北九州港に次ぐ水深となる。また、九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道及び九州新幹線などの高速交通網整備の進展と併せ、港湾利用・物流拠点型産業の立地・集積により、九州とアジアのゲートウェイを目指す。

1. 集積地域 八代市

2. 集積業種 港湾利用・物流拠点型産業 (飼料・有機質肥料製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、運輸業、卸売業)

3. 集積区域における集積業種に係る成果目標(目標年次28年度)

- 新規立地件数 6件
- 製造品出荷額増加額 226億円
- 新規雇用数 45人

4. 目標達成に向けた事業環境整備等

- 人材育成支援事業
地域の振興に寄与できる人材育成支援事業を行う。○優遇制度の拡充
本市の優遇制度の対象であり、かつ本基本計画の対象となる企業に対しては、最大5年間、固定資産税の課税免除を行う。
- 緑地面積率等の緩和
工場立地法における緑地面積率等を緩和し、企業の負担を軽減。効率的な敷地の活用により、生産性の向上を目指す。
- ワンストップサービス体制の強化
担当職員を県・テクノ産業財団へ1名ずつ派遣し、関係機関とのスムーズな連携や企業ニーズへのスピーディな対応を心掛けている。



港湾利用・物流拠点型産業 (飼料・有機質肥料製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、運輸業、卸売業)

- 関連産業の集積
- 事業高度化
- ワンストップ体制の強化

